# 第5次生涯学習推進計画 評価

資料4-7

## (令和元年度末時点)

### (1)成果指標

※達成状況が「◎」「×」となっているものだけを抜粋

#### 【施策1-1】

	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·										
		当初	目	標			実績				
No.	指標	H27末	H30末	R3末	H28末	H29末	H30末	R1末	達成		
			(中間目標)	(最終目標)					状況		
		76.9% (H26)	83.0%	90.0%	80.5%	75.9%	76.3%	73.6%	×		
			-	-	WEBアンク						
	生涯学習に関心の	達成物	犬況に対する	る説明		今後	後の取組み等	等			
1	ある市民の割合			による学ぶ場							
	のでいれています			生涯学習イベ							
			て実施しました			っかけづくりに	• • • — • —	学習に関心のな	ある市民		
		比較し、2.7ホ	イント下降しま	じた。	の割合が増え	とるよう努めます	<b>5</b> .				

#### 【施策1-2】

	東   一 乙								
		当初	目	標			実績		
No.	指標	H27末	H30末	R3末	H28末	H29末	H30末	R1末	達成
			(中間目標)	(最終目標)					状況
		44.1%	74.0%	80.0%	_	73.1%	68.0%	73.5%	×
								WEB7	アンケート
١,	生涯学習施設を年1	達成物	犬況に対する	る説明			その取組み等		
4	回以上利用したことのある市民の割合	「蝦貝の貝貝	向上に努め、ア			整備を進め、同			
	のある中氏の割合		業を企画する			っかけづくりに	努め、生涯学習	習施設の利用	者増を図
			請を進めました ₹し、5.5ポイント		ります。				
		削牛及と比較 た。	し、いいハイント	エ升しまし					
		,_o							

#### 【施策クーク】

	.來 2 一 2 ]									
		当初	目	標	実績					
No.	指標	H27末	H30末	R3末	H28末	H29末	H30末	R1末	達成	
			(中間目標)	(最終目標)					状況	
		98.2%	99.0%	99.5%	98.5%	98.7%	98.4%	98.4%	×	
							I	受講者アンク	ート調査	
		達成物	犬況に対する	る説明			後の取組み等			
6	公民館の講座の参		る課題や利用					理由を的確に		
•	加者の満足度		事業を実施した					、講座内容や	実施回数	
			足度となりまし		を充実し、さら	なる満足度の	向上を図りま	す。		
			0回答数は、1,6							
			見を広く聴取す	ることかでき						
		しいまり。								
		ています。								

#### 【施策3-1】

	,来ら一 I <u>J</u>								
		当初	目	標			実績		
No.	指標	H27末	H30末	R3末	H28末	H29末	H30末	R1末	達成
			(中間目標)	(最終目標)					状況
		16.4% (H26)	23.0%	30.0%	21.9%	13.5%	16.7%	16.1%	×
								WEB7	アンケート
	ナロのギニンニィフ	達成物	犬況に対する	る説明		今後	後の取組み等	等	
	市民のボランティア 活動・地域活動へ		ンターや公民館			を踏まえボラン			
l °	の参加状況	1: ' ' '	の育成講座を			ボランティア等			
	の参加払沈	た。				望など、学習成	果を地域に遠	元するしくみつ	くりに取り
			蛟し、0.6ポイン		組みます。				
			あるちらし作り						
			生化を目的とし	たことにより					
		受講者数は増	当加しました。						

#### 【施策3-3】

LNE	「東ら一ら」								
		当初	目	標			実績		
No.	指標	H27末	H30末	R3末	H28末	H29末	H30末	R1末	達成
			(中間目標)	(最終目標)					状況
		24.3% (H26)	27.0%	30.0%	1	28.9%	31.8%	31.2%	0
								WEB7	アンケート
	住民同士で地域課	達成物	犬況に対する	る説明		今後	後の取組み等	等	
10	題の解決に取り組		審議会や運営			審議会や運営			
	んでいると考える市	C HOX HING C 1 C/C	地域課題を講			:連携して主催			#題の解
	民の割合			と比較し、0.6	決に取り組ん	でいけるようま	え援を続けます	•	
		ポイント下降し	<b>」ました。実績</b>	値は減少した					
		ものの、最終	目標は上回っ	ており、高い					
		水準を維持し	ています。						

## (2)アクションプラン

※進捗状況が「達成」「遅れ」となっているものだけを抜粋

【施策1-2】

L NE	策1-2】	***	当初	目	標	実績						
No.	事業名	新規·拡充項目 継続	H27末	H30末 (中間目標)	R3末 (最終目標)	H28末	H29末	H30末	R1末	達成 状況		
		生涯学習センター の施設稼働率	51.5% (H26)	54.0%	55.0%	58.2%	62.8%	64.7%	60.3%	達成		
	生涯学習	公民館の施設稼 働率(*調理室を 除く)	45.2% (H26)	48.0%	51.0%	46.8%	46.8%	45.8%	46.3%	遅れ		
	施設等の		主な成果と	考察				後の取組み しょうしょう かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	_			
1	利用環境 の充実	・生涯学習センターの 大による利用自粛によ 楽スタジオのドラムセ の照明をLED化したこ ・公民館の稼働率は、 比べて1~3%程度上用 感染拡大による利用E りました。施設・備品の め、利用しやすい施設	tって、前年度 ットを更新する ことから利用者 令和2年1月 むていました 自粛により、年 つ老朽化対応	まより4.4%下降 るとともに、食 者の好評を得までの各月でした。 が、新型コロ・ 手間では0.5%」 やパリアフリー	:しました。音 文化研修室 ています。 は前年度と ナウイルス :昇にとどま	整備するほか。 ・公民館ではい施設とは何	い、夜間区分の 、今後も計画 可かという事を	利用者の意見の利用促進をの利用促進を(的に施設の作会) でいまい でいまい でいまい でいまい でいまい でいまい でいまい でいま	検討していき 多繕を行い、 まがら、どのよ	ます。 川用しやす うな利用者		
		地区図書館の開 館時間の拡大	_	1館	1館	0館	0館	0館	0館	遅れ		
	図書館	分館における休日 開館の実施	_	3館	3館	0館	0館	0館	0館	遅れ		
2	サービス		主な成果と			今後の取組み等						
	の向上	・図書館が地域の「知の発展に貢献できる」 き、逆算する形で取りな図書館計画「千葉市・平成29年3月に開館 て、休館日である月曜	こうに、実現し 組むべき施策 「図書館ビジョ した「みずほノ	たい図書館の きを示す指針と ョン2040」を策 いスの花図書	)未来像を描 として、新た 定しました。							
4	公民館の 改築	犢橋公民館の改 築	基本設計	H30年4月 供用開始	供用	建設中 (H29年10 月供用開始 予定)	H29年10月 供用開始	H29年10月 供用開始 (H29の実 續再掲)	H29年10月 供用開始 (H29の実 績再掲)	達成		
	<b>5</b> 0.7		主な成果と	考察			今後	後の取組み しょうしょう かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	等			
		・利用者・関係者からの 倒しし、平成29年10月	どを6か月前									
5	公民館の	冷暖房設備改修	3館 (H26)	1館 (H30末まで の累計)	4館 (R3末まで の累計)	計1館 (H28:1館実 施)	計2館 (H29:1館実 施)	計2館 (H30:0館実 施)	計5館 (R1:3館実 施)	達成		
J	改修		主な成果と			今後の取組み等						
		・冷暖房設備改修は、中長期保全計画に基づき進めています。				課題となって		化及び効率的 的な維持保全 す。				

【施策1-2】

【雁	頭第1-2】										
		新規·拡充項目	当初	目	標	上 実績					
No.	事業名	継続 継続	H27末	H30末 (中間目標)	R3末 (最終目標)	H28末	H29末	H30末	R1末	達成 状況	
		中央図書館・生涯 学習センターの改	中央監視装 置更新	アトリウム ガーデン屋 根防水	工事完了済	実施設計	H30年3月 工事完了	H30年3月 工事完了 (H29の実 續再掲	H30年3月 工事完了 (H29の実 續再掲	達成	
6	中央図書 館・生涯学 習センター 等の改修	修	(H26)	吊天井落下 防止対策	工事完了済	実施設計	H30年3月 工事完了	H30年3月 工事完了 (H29の実 績再掲)	H30年3月 工事完了 (H29の実 績再掲)	達成	
			主な成果と			今後の取組み等 方・施設利用者への影響を考慮しながら、効率的な施設改修を・					
		·中央図書館·生涯学 水、吊天井落下防止家				・施設利用者 討します。	への影響を表	<b>き慮しながら、</b>	効率的な施設	设改修を検 	
		外壁·屋上防水改 修	工事2館 (H26)	_	実施設計1館	計工事0館 (H28:0館実 施)	計工事0館 (H29:0館実 施)	計工事1館 (H30:1館実 施)	計工事1館 (R1:0館実 施)	達成	
7	コミュニ ティセン	空調•熱源改修	実施設計1 館(H26) 工事1館 (H26)	工事1館 (H30末まで の累計)	実施設計1 館 工事1館	計工事1館 (H28:1館実 施)	計工事1館 (H29:0館 実施)	計工事2館 (H30:1館 実施)	計工事2館 (R1:0館実 施)	達成	
,	タ <b>ー</b> の改 修	劣化度調査	_	2館 (H30末まで の累計)	3館	計2館 (H28:2館実 施)	計2館 (H29:0館実 施)	計2館 (H30:0館実 施)	計3館 (R1:1館実 施)	達成	
			主な成果と				今後	後の取組み	等		
		・中期保全計画に基で 令和元年度は穴川コミ しました。				•今後も、計画	画的に施設改	修を実施しま	す。		
9	公民館へ の社会教	公民館における社 会教育主事資格 取得者数	_	_	12人	_	_	13人	15人	達成	
"	育主事配		主な成果と	考察			今後	後の取組み	等		
	置 •]	・職員の専門性を向上 化するため、公民館職 ことにより、資格取得	は員の社会教	育主事資格取			教育主事講習 曽に努めます		員を積極的に	推薦し、資	

【施策2-1】

N/U	スピー!』									
		新規·拡充項目	当初	E	標			実績		
No.	事業名	利风·加九坝日   継続	H27末	H30末	R3末	H28末	H29末	H30末	R1末	達成
		<u> የነው ነንር</u>		(中間目標)	(最終目標)					状況
1	加曽利貝 塚の特別	総括報告書の刊 行		総括報告書 の刊行	総括報告書 の刊行	総括報告書 の刊行	の刊行 (H28の実	の刊行 (H28の実	総括報告書 の刊行 (H28の実 績再掲)	達成
'	塚の特別 史跡指定		主な成果と	考察			今後	後の取組み	等	
		・平成29年10月13日代 元年度は台風や新型 なり、平成30年度の7	コロナ感染症	の影響により	67,632人と		是供など来場		進めるとともl ·踏まえた事業	

【施策2-1】

<u> 策2-1】</u>											
	新規•拡充項目										
事業名	継続	H27末	H30末 (中間目標)	R3末 (最終目標)	H28末	H29末	H30末	R1末	達成 状況		
	ゆかりの家・いな げの改修	_	箇所修繕、	箇所修繕、	_	_	_	電気設備工 事実施設計	遅れ		
文化財の	市民ギャラリー・い なげ(旧神谷伝兵 衛稲毛別荘)の改 修	基本設計	耐震改修、 屋根防水改 修工事	耐震改修、 屋根防水改 修工事完了	実施設計	_	耐震改修、 屋根防水改 修工事	耐震改修、 屋根防水改 修工事完了	達成		
		主な成果と	考察		今後の取組み等						
の推進	ては実施設計は完了 となり実施できません ・市民ギャラリー・いな	したものの、I でした。 :げでは平成3	E事について 0年10月からi	は入札不調 耐震改修工	気設備工事でを見直すことす。また、外の価値を損ぎに努めます。市民ギャラー同時に7人まするとともに	を早期に実施で再度の入れ で再度の入れ いることが無いようことが無いよ け。 リー・いなげて でとしていた 、イベント等の	するため、エ 北不調を回避 については、 う、劣化状況 な、工事完了 入館制限を綴	事範囲や手法 するための対 地域有形文化 を注視しつつ でを踏まえ、安 乗和し、公開事	等の仕様 策を講じま 比財として 適切なを 全のため 業を促進		
	加曽利貝塚など縄 文時代の理解を深 める講座・事業	11事業	13事業	13事業	13事業	15事業	34事業	36事業	達成		
郷土の珊	千葉氏など郷土の 歴史の理解を深め る講座・事業	24事業	26事業	26事業	26事業	25事業	28事業	27事業	達成		
		主な成果と	考察		今後の取組み等						
る講座·事 業の充実	心に、埋蔵文化財調3数を増やすなど昨年度た。 ・郷土博物館では、市に、千葉大学と共催でまた、千葉氏の普及をAJを開催するなど事事・埋蔵文化財調査セン展など郷土史関連事事	をセンターとの 度より2事業多 民向けの公開 千葉氏公開 ・図るために、 業の充実を図 ・ターは、市内 業8事業に加:	シ連携事業も行い36事業を写 明講座を実施市民講座を実施 市民講展「千事」 ペネルとができることが設ででの え、加曽利貝」	含め、開催回 実施しました。 をしました。 では を を は た た で で で で で で で で で で で で で で で で で	と連携し、相 2年春に常設 示を目指しま する。Twittel ・郷土博 の が となっ で に り に り に い い の の の の の の の い が の の の い の の の の の	互交流を伴う 展示の一部ででは、ホームペーチに開設している。 では、魅力はでは、魅力をでは、魅力を が変を着実し がしたホーム	事業を展開したリニューアルページにはいました。 い見ないでははいいでは、 による業を展りるのではない。 いきないではないできる。 に多めて参りできる。 でいるできる。 でいるでは、 でいるでいるでは、 では、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 とでは、 でいるでは、 でいるでは、 でいるでは、 とでは、 でいるでは、 とでは、 とでは、 とでは、 とでは、 とでは、 とでは、 とでは、 と	て参ります。。。 いし、より分かり にはじめ、学芸 物館の情報公 情報発信に努 引していくうえて よう、専門的人 ます。また、令	tた、令和 いすり り いすり いまり いますの で、 が の で、 が の た が の た が の た が の た が り た の た う た う た う た う た る た る た る た る た る た る		
	加曽利貝塚博物 館の来館者数	l	_	100,000人	_	ı	77,222人	67,632人	遅れ		
					4.4.			-			
特別史跡 加曽利貝 塚の魅力 向上	「別史跡」 ・縄文春まつり、秋まつり、ナイトミュージアムの継続的な開催やSNS等を活用した情報発信により、市外からの新たた来訪者が増加傾向にあることがアンケート結果などから明かになりました。 ・週末には来訪者が疑似発掘などの体験ができる「縄文体プログラム」を実施しました。 ・平成31年2月に策定した「特別史跡加曽利貝塚グランドディン」に基づき、史跡整備の基本設計及び実施設計を行いした。					す。 ウイルス感染 した博物館運の シ等の史 多工事、復 ついて、展示	症の状況を注 営に努めて参 )環境整備エ 住居の新設等	E視しつつ、新 ります。 事、北貝塚住 手の史跡整備	たな生活居跡群観を行いま		
	文保の 郷解る業 大字推 土を講の 大字推 の深座充 りり かられる の の の の の で と からま から の の で と から と	事業 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	事業名 新規・継続 出流統 当初・H27末	事業名 新規・拡充項目 出7末 (中間目標) か壁等解像 原教 原子 (中間目標) か壁等解像 原教	事業名 新規・拡充項目	事業名 新規・拡充項目	事業名 新規・拡充項目	事業名 新規・拡充項目 当初 目標	事業名 新規・拡充項目		

<u>【</u> 挽	〔策2-2】										
		新規·拡充項目	当初		標	実績 実績					
No.	事業名	継続	H27末	H30末 (中間目標)	R3末 (最終目標)	H28末	H29末	H30末	R1末	達成 状況	
		「(仮称)瑞穂情報図書センター」の整備	検討	H29年3月 供用開始	供用	H29年3月 28日供用 開始	供用	供用	供用	達成	
	「(仮称)瑞		主な成果と	考察			今後	後の取組み	等		
4	穂情報図 書セン ター」の整 備	・「(仮称)瑞穂情報図館)」は、寛ぎながら記自動貸出機、タブレッ機器を活用したサービ館として、花見川区役供用を開始しました。領に結果については、第1千葉市図書館ご活用しました。	記書を楽しめる ト端末及びデ ごスの導入なら 所1階に整備 なお、みずほ 第3次実施計画	5スペースの言 ジタルサイネ ど、新たな取れ を進め、平成 ハスの花図書 国事業「新たた	投置に加え、 一ジ等のICT 祖を行う図書 [29年3月に 計館の効果検 (図書館計画				ŧ館のモデル₹ る際のデータ。		
	未来の科 学者育成	未来の科学者育 成プログラムの実 施(ジュニア講座 受講者数)	実施	拡充	拡充 (100人)	拡充	実施 (受講者数 減)	71人	159人	達成	
6	プログラム		主な成果と	考察	<u> </u>	今後の取組み等					
	の充実	・ジュニア講座は電子 公立小学校5・6年生年 を上回る応募が続き、	と員にチラシる	を配付したこと	により、定員						
		実施日数	21.2日/校 (H26)	従来型 19.3日/校 活動支援型 25.0日/校	従来型 22.0日/校 活動支援型 28.0日/校	19.8日/校	19.8日/校	従来型 17.9日/校 活動支援型 25.9日/校	従来型 16.9日/校 活動支援型 28.0日/校	遅れ	
		活動支援実施校 数	_	_	17校	_	_	17校	17校	達成	
8	放課後子 ども教室 の推進	放課後子どもプラ ン策定	_	_	策定	_	_	策定	策定 (H30の実績 再掲)	達成	
			主な成果と		•			後の取組み			
		・平成30年度に放課後子どもプランを策定し、放課後施策を総合的・計画的に進めています。 ・従来型は、新型コロナウイルス感染拡大により活動が縮小されたため、実施日数が減少しました。また、安全管理やプリグラム開発など、地域の負担が大きいことが実施日数を増加する上での課題となっています。 ・活動支援型は対象校17校を希望制により決定することで、真に必要とされる支援を行いました。					・総合コーディネーターによる活動支援を継続するとともに、き続き対象校は希望制により決定することで、真に支援を要る学校に必要な支援を行い、実施日数の増加を図ります。				

【施策2-2】

<u>【</u> 施	[策2-2]									
		新規·拡充項目	当初		標			実績		
No.	事業名	継続	H27末	H30末 (中間目標)	R3末 (最終目標)	H28末	H29末	H30末	R1末	達成 状況
		読書習慣のある児 童生徒の割合 (小学5年生)	45.2% (H26)	49.0%	52.5%	46.0%	48.1%	44.0%	44.1%	遅れ
		読書習慣のある児 童生徒の割合 (中学2年生)	46.9% (H26)	49.0%	52.5%	44.4%	44.5%	43.0%	_	遅れ
9	子ども読書活動の	1か月間に読んだ 本が0冊の児童生 徒の割合(小学 生)	1.1% (H26)	0.9%	0.8%	0.6%	0.4%	0.3%	0.6%	達成
	推進	1か月間に読んだ 本が0冊の児童生 徒の割合(中学 生)	7.9% (H26)	6.4%	5.5%	2.8%	1.6%	1.3%	0.9%	達成
		・「ファミリーブックタイ	主な成果と	考察	•			後の取組み しょうしょう かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	· <b>等</b> 「団体貸出」 <sup>•</sup>	
		しみ、読書の幅を広け 環境の整備へ向けた!			を援し、読書	きます。 •また、令和3	3年3月策定	予定の第4次-	通した学びをま 子ども読書活 との連携につ	動推進計
		「子育てママのお しゃべりタイム」の 実施館数	21館 (H26)	28館	28館	22館	22館	22館	22館	遅れ
	完成批支	「子育てママのお しゃべりタイム」の 延べ参加者数	_	_	2,500人	_	_	1,925人	1,677人	遅れ
11	家庭教育 支援事業		主な成果と					後の取組み		
	の実施	・家庭教育の支援や月 「子育てママのおしゃ・ 該事業の担い手である。 代のニーズに応じ、実 化や就労家庭の増加 館数の増加には至っる 新型コロナウイルス感 数・参加者数は減少し	べりタイム」を る子育てサポ 施回数や場 により参加者 ていません。 染拡大により	公民館で実施 ーターや地域 所を調整してい 数は減少して 令和元年度は	をしました。当 なの子育て世 います。少子 こおり、実施 :自然災害や	の子育て世代ます。また、	<b>代のニーズに</b>	応じ、実施回		整していき
	公民館主	主催講座の実施・拡充	_	_	900講座	_	_	972講座	1,085講座	達成
13	催講座の		主な成果と	考察	l			■ 後の取組み	·等	
	実施∙拡充	・幅広い学習ニーズに 行い、各公民館で1〜 講座を実施しました。	応えるため、	関係機関と連					会の提供に	好めていき

【施策3-1】

【施	頭第3−1】									
		车担, 扩大项目	当初	<b>B</b>	標			実績		
No.	事業名	新規•拡充項目 継続	H27末	H30末 (中間目標)	R3末 (最終目標)	H28末	H29末	H30末	R1末	達成 状況
		指導者養成研修 *延受講者数	333人 (H26)	370人	400人	389人	364人	347人	316人	遅れ
			主な成果と	考察	•		今後	後の取組み	等	
1	団体・グ ループ活 動のリー ダーの養 成・育成	・生涯学習センターでにつながる内容の中心をコニュートを表している。 はいまれることでは、まれる事業の、ロナウイルのの、ロナウイルののうち、1講座のうち、1講座を実施しました。	は、リーダーと 多事業を展開 と力の向上や る内容ではな ディネーター等 受講希望者に 重要な研修の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	としての資質にしました。団体にはいたは、 は報の方法等にいことや、PT はの受講値に対象では、 は目標値の多数では、 はは、 はは、 はは、 はいことや、 はいことでは、 はいとでは、 はいと	本活動に必要 等多くの受講 A役員限から おなか。 とした。 とに施予 ます。	して必要な資 活動活性化/ 置くなど、活動ます。 ・公民館では	ンターでは、 質を高めるた こ必要とされる 動に関わる方	受講者の二一とめの研修を見るコミュニケーが積極的に参	マイン マイマック できる研修 立つ 講座をまかる できる研修 立つ	た、団体に目的を多を実施し
2	ボランティ アの育成	ちば生涯学習ボランティアセンター登録者数 :- ちば生涯学習ボラン加してはいますが、高の影響もあり、大幅な	齢化や団体の	-の登録者数 の活動停止等	による減少	所管するボラ	合同説明会の シンティア等と		・ て、他の施設 を図るとともに	
		家庭教育支援チー ム数	2チーム (H26)	4チーム	4チーム	2チーム	2チーム	2チーム	2チーム	遅れ
		子育てサポーター 人数	33人 (H26)	42人	42人	36人	39人	35人	37人	遅れ
	家庭教育		主な成果と					後の取組み	_	
3	支援事業 の実施(一 部再掲)	・子育ての悩みなどを相談できる場所として認知されてきており、今後も継続的な需要が見込めます。また、家庭教育支援チームは、地域団体(育成委員会やPTAなど)との会議や共催で行う学習講座なども行っており、地域とのつながりを深めつつ地域人材を育成しています。就労されている方の負担などが理由で、チーム数やサポーター人数は目標値に至っておらず、特に家庭教育支援チームは臨床心理士や保育士等で構成されるため、人材の確保が課題となっています。				て、子育てサ 関連団体にご 開催するイベ	ポーターや青 適切な人材の シト等につい	少年育成委 紹介を呼びか てもより一層	民館や学校 <i>0</i> 員等の既存 <i>の</i> いけるとともに の広報PRに きます。	家庭教育 、チームが

#### 【施第3-2】

<u> </u>	現取るニと』										
No.	事業名	新規·拡充項目 継続	当初	目標		実績					
			H27末	H30末	R3末	H28末	H29末	H30末	R1末	達成	
				(中間目標)	(最終目標)					状況	
4	等におけるコーディ	ちば生涯学習ボラ ンティアセンターに おけるコーディ ネート	198 <b>件</b> (H26)	230件	260件	231件	221件	234件	262件	達成	
		主な成果と考察				今後の取組み等					
		・新規施設・団体からの依頼が着実に増加しており、順調に推移しています。また、ボランティアの派遣について潜在的なニーズを見込むことができる小・中学校や公民館へ直接事業説明を行い、広報活動にも努めました。									

【施策3-3】

【 ル ス 5 一 5 】											
No.	事業名	新規·拡充項目 継続	当初	目標		実績					
			H27末	H30末	R3末	H28末	H29末	H30末	R1末	達成	
				(中間目標)	(最終目標)					状況	
1	多様な主 体による 学習活動 の推進	公民館、生涯学習 センターにおいて 多様な主体と連携 して実施した事業 数	103事業 (H26)	115事業	120事業	114事業	109事業	131事業	141事業	達成	
		主な成果と考察				今後の取組み等					
		・NPO法人や地域団体などと連携し、生涯学習センターでは				・NPO法人をはじめ、大学、民間企業、地域団体、生涯学習施					
		91講座、公民館では50講座を実施しました。様々な団体と連				設で活動している団体等と連携し、地域課題の把握に努め、学					
		携することで、多彩な事業を実施することができました。				習内容と機会の充実に努めます。					